



命を守る力

－ 自分で考え動く訓練 －

6月4日(木)5時間目。地震発生を想定した避難訓練を行いました。

子どもたちは、放送や先生の指示をよく聞き、校庭へ落ち着いて避難しました。学校では、万が一の時にも児童の安全を確保できるよう、避難経路や行動の仕方を確認しながら訓練を行っています。

本日は、館林消防署より2名の署員の方にご来校いただき、避難の様子を見ていただいた上で、ご指導・ご講評をいただきました。専門的な視点から見ていただくことで、学校として大切にすべき安全行動を改めて確認する機会となりました。

今回、子どもたちと確認したのは、地震が起きた時に落ち着いて行動することの大切さです。頭を守ること、先生の話をしっかり聞くこと、安全な場所へ避難すること。その一つ一つが、自分自身と周りの人の命を守る行動につながります。こうした学びは、学校だけでなく、家庭でも確かめておくことが大切です。ぜひご家庭でも、地震が起きた時にどこへ避難するか、誰に知らせるか、どこで会うかについて話題にしていただければと思います。